



東北大学

平成 24 年 11 月 1 日

報道機関 各位

東北大学男女共同参画委員会

第 10 回 東北大学男女共同参画シンポジウム  
「<sup>みたび</sup>三度さきがけを目指す、東北大学における男女共同参画の新たな展望」  
開催案内

東北大学は、1913 年（大正 2 年）に日本の大学としてはじめて女子学生を受け入れてから、来年で 100 周年を迎えます。

また、2002 年（平成 14 年）の男女共同参画推進のための東北大学宣言、東北大学男女共同参画奨励賞（沢柳賞）の創設、過去 9 回の男女共同参画シンポジウム開催等、第二のさきがけを目指す男女共同参画委員会の取り組みの開始から 10 年になります。

これを機に、東北大学における男女共同参画推進の現状を分析し、今後、東北大学が三度目のさきがけを目指すために必要なことについて参加者のみなさまと広く議論したいと考えています。

つきましては、ご多忙と存じますが、御取材の程、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

第 10 回 東北大学男女共同参画シンポジウム

日 時：平成 24 年 11 月 18 日（日）13:00 開会（16:30 閉会予定）

会 場：片平さくらホール 2 階（東北大学片平キャンパス）

対象者：本学 他大学教職員・学生等、行政関係者、一般市民の方（参加料無料、無料託児所あり）

内 容：来賓挨拶 文部科学省高等教育局長 板東 久美子氏（元内閣府男女共同参画局長）

東北大学男女共同参画奨励賞（沢柳賞）授賞式・受賞講演・成果報告講演

特別講演「男女共同参画と研究者・社会・男性」 東北大学経済学研究科 教授 吉田 浩

パネルディスカッション「東北大学の男女共同参画－三度さきがけに向けて」など

添付資料：開催案内ポスター

【問合せ先】東北大学総務部総務課総務係

電話番号：022-217-4811

E-mail: danjyo@bureau.tohoku.ac.jp



# 三度さきがけを目指す、 東北大学における 男女共同参画の 新たな展望

東北大学は、1913年に日本ではじめて女子学生を受け入れてから、まもなく100周年を迎えます。また、2002年の男女共同参画推進のための東北大学宣言等、第二のさきがけを目指す取り組み開始から10年になります。これを機に東北大学の男女共同参画に関する現状を分析し、三度目のさきがけを目指すために必要なことを、参加者のみなさまと広く議論をしたいと考えています。

# 11.18 | 日 |

平成24年 13:00~16:30

会場 片平さくらホール 2階

対象 東北大学 他大学教職員・学生等  
行政関係者、一般市民

来賓 文部科学省 高等教育局長 板東 久美子氏

## 入場無料

事前のお申し込み等は不要です。  
一般の方も是非ご来場ください。



徒歩 JR仙台駅より約20分  
バス 仙台駅西口バスプール  
・9番乗り場「宮教大・青葉台行青葉通経由動物公園循環」青葉通一番町下車徒歩10分  
・11番乗り場「雲屋橋・動物公園経由緑ヶ丘三丁目」雲屋橋・動物公園・日赤病院経由八木山南団地行「東北大正門前下車」  
・12番乗り場「雲屋橋・動物公園・西の平経由長町南駅・長町(宮)行」東北大正門前下車  
タクシー 仙台駅1階西口より約10分

東北大学男女共同参画委員会HP  
<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/danjyo>  
東北大学総務部総務課 TEL022-217-4811 FAX 022-217-5906

### プログラム

- 13:00 開会挨拶  
東北大学総長 里見 進
- 13:10 来賓挨拶  
文部科学省高等教育局長 板東 久美子氏

### 第1部 13:20~14:20

東北大学男女共同参画奨励賞(沢柳賞)  
受賞式・受賞講演

- 授与式
- 受賞講演

平成23年度(第9回)沢柳賞受賞者講演 研究部門

「日本の農村地域における  
男性看護師の生存戦略  
— Survival strategies of male nurses  
in rural areas of Japan —」

医学系研究科 教授 朝倉 京子

平成24年度(第10回)沢柳賞受賞者講演 活動部門

プロジェクト部門成果報告講演

平成21年度受賞者講演

「女性研究者とキャリア形成の条件  
— 留学生のキャリア形成過程に注目して —」

女性と労働研究会

教育学研究科 助教 朴 賢淑

神奈川県社会保険労務士 村山 浩之

仙台青葉学院短期大学 准教授 小形 美樹

教育学研究科 DC 李 智

休憩 14:20~14:35

### 第2部 14:35~16:30

特別講演

「男女共同参画と研究者・社会・男性」

男女共同参画と研究者・社会・男性の3つの立場について

「女性の社会進出と出生率」「男女平等指標の効果」

「女性の就業と男性の幸福」に関する実証的統計より

経済学研究科 教授 吉田 浩

■ 都のジャンプアップ事業 for 2013 について

金属材料研究所 教授 米永 一郎

■ 東北大学の男女共同参画実態調査

ワーキンググループからの報告

薬学研究科 准教授 吉成 浩一

■ パネルディスカッション 15:20~16:20

「東北大学の男女共同参画

— 三度さきがけに向けて —」

コーディネーター: 医学系研究科 教授 大隅 典子

パネリスト: 法学研究科 教授 辻村 みよ子

経済学研究科 教授 吉田 浩

薬学研究科 准教授 吉成 浩一

原子分子材料科学高等研究機構 教授 栗原 和枝

文部科学省高等教育局長 板東 久美子氏(予定)

16:20 講評・閉会挨拶

男女共同参画委員会委員長 植木 俊哉

16:30 閉会

無料託児所を準備しております

お子様連れでも安心してご参加ください。

ご利用希望の方は11月9日(金)まで

左記、東北大学総務部総務課までご連絡ください。